

しなののうた

絵の中の一直線なる白き道

突き動かされ吸い込まれゆく



杉田小百合

しなののうた

パリの街描ける中にコンコルド広場の椅子は追憶のなか

杉田小百合



しなののうた

館を出て足りるを
知れば爽やかな
五月の風が透き
通りゆく



杉田小百合

しなののうた

天笠を駆ける白馬はいずこなり下界ながめて世相はいかに

杉田小百合



しなののうた

善光寺へ続く小径にに躑躅咲き回り道してひととき憩う



杉田小百合